

高校説明会 校長挨拶

令和元年6月26日（水）

はじめに、本日の高校説明会においてお話をいただきます、計4校の高等学校の校長先生方に御礼申し上げます。

先日、市中体連総合大会が終わり、本校も今年度の新たなステージを迎えています。とりわけ、3年生は、中学校卒業後の進路についてじっくりと考え、高校入試に向けた学習などを本格的にスタートさせる時期を迎えています。

ご存じのとおり、来年度から県立高校の入試制度が大きく変わります。最大の変更点は、志願者全員に学力検査を課すことです。その背景には、県立高校が、入学してくる生徒の学力に危機感を持っていることがあります。皆さんにお配りしたのは、今年の3月に実施された県立高校の入試問題の一部です。国語では、複数の対象について視点を設けて比較する力が求められています。また、数学では、社会生活の中の事象を数学的に表現・処理する力が求められています。

このような問題が解ける力は、単に高校に合格するためだけに身に付けるものではありません。授業や受験勉強で養われる力とは、自分の生活や学習をマネジメントする力であり、社会的・職業的自立のために必要な知識・技能や思考力・判断力・表現力等であります。したがって、中学校や高校での学習の目的を、高校や大学に入るためだけに置いて、暗記に偏った勉強、特定の教科に偏った勉強にならないように注意してください。読書をしたり新聞を読んだりする習慣、いろいろな大人から生き方について話を聞くなどのアクティブな学びにもチャレンジしてください。学校でも、生徒の皆さんが、生きて働く知識・技能、未知の状況でも活用できる思考力・判断力・表現力等を養うことができるような授業、教育活動を行っていきます。

保護者の皆様には、この後の学年懇談会、部活動保護者会についても、有意義な会となりますようご協力をよろしくお願いいたします。